

母校で絵本読み聞かせ

児童たちに絵本を読み聞かせる朝来中学校の生徒たち＝山口小学校

朝来中学校(朝来市新井)の3年生約40人が、母校の山口小学校や中川小学校で1、2年生各約30人に絵本の読み聞かせをした。朝来中近くの「あざみ森の図書館」の職員らに指導を受け、絵本を選び、読み聞かせの練習を重ねてきた。

同中は以前から読書に力を入れており、本年度と来年度は、自主的な読書を促す県教育委員会の「読書活動推進事業」の指定を受けている。3年生が読み聞かせの準備をする一方、1年生は両小学校の蔵書に合わせ、広告の一種「ポップ」を作成。2年生は個々に選んだ本の魅力を紹介し合う「ゴブリオバトル」に取り組んだ。

3年生は15日、2班に分

朝来中の3年生40人

山口小や中川小の1、2年生に



かれてそれぞれの母校である小学校を訪問した。山口小(同市羽瀨)では、体育館などで一緒に遊んで交流した後、教室へ。「はらぺこあおむし」「のりものい

ろいろかくれんぼ」など用の大型絵本も使い、23人のグループごとに読み聞かせをした。児童たちは絵本を見つめ、静かに聞入っていた。

同中の安田玲生さん(16)は「真剣に聞いてくれてりやすかった。準備は大だったけど、楽しかったと笑顔で話していた。

(小日回務)